

平成16年3月16日

各位

会社名 日立金属株式会社
代表者名 執行役社長 本多 義弘
コード番号 5486 東・大証1部
問い合わせ先 コミュニケーション室長 石毛 秀
(電話 03 - 5765 - 4075)

2005年度中期経営計画を策定

～ 成長への飛躍 ～

日立金属は、これまで企業体質の強化や事業再編の施策など積極的に構造改革を進めてまいりましたが、このたび、さらに成長する企業へ飛躍することを目指し、2005年度(平成18年3月期)までの中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

・ 2005年度中期経営計画策定に対する考え方

これまで、2003年度中期経営計画として、アジア価格に対抗しうるコスト競争力を磨き、個別事業の強化に取り組んでまいりました。今年度は、アモルファス金属材料事業の買収や、永久磁石事業の再編などを行い、事業ポートフォリオの改革を実行しました。

2004年度から2年間を見た2005年度中期経営計画においても、継続して構造改革に取り組み、これまで行なった施策の成果を確実なものとするとともに、成長に向けた個別事業の強化を図ってまいります。

- 具体的には、
- ・ 事業ポートフォリオ改革の継続
 - ・ 成長による新たな収益機会の創造
 - ・ 変動の激しい事業環境への適応
 - ・ 成長へ向けた財務体質の強化

を方針とし、中長期連結経営目標として掲げているROE(株主資本利益率)10%実現に向けた体質づくりとして、売上高5,000億円、営業利益300億円、ROE6%を目標数値としております。

この中期経営計画の実行により、特色ある「開発型企业」の地位をより強固にし、社会が求める価値を生み出すために、さらなる「質の創造」を進めてまいります。

・ 経営目標数値(連結ベース)

| | 2004年度 | 2005年度 |
|-------|---------|---------|
| 売上高 | 4,700億円 | 5,000億円 |
| 営業利益 | 200億円 | 300億円 |
| 当期純利益 | 50億円 | 100億円 |
| ROE | 3% | 6% |
| 設備投資額 | 250億円 | 250億円 |
| 減価償却費 | 260億円 | 250億円 |
| 研究開発費 | 110億円 | 130億円 |
| 人員 | 24,100名 | 24,000名 |

・ 内 容

1．事業ポートフォリオ改革の継続

これまで、事業ポートフォリオの改革として、軟磁性材料における世界のリーディングサプライヤーとなるため米国・ハネウェル社からアモルファス金属材料事業を買収、また、永久磁石事業のグローバルな競争力強化を目的とした、住友特殊金属株式会社との事業再編を実施することといたしました。これらの施策により、従来から市場での競争優位性を持つ事業も含めた、個別事業のナンバーワン戦略の枠組みを構築いたしました。

今後は、このナンバーワン事業の一層の競争力強化を図り、成長のための基盤をより強固なものにしていきます。

2．成長による新たな収益機会の創造

縮小する国内市場で勝ち残るために研究開発の倍速化を行い、新製品売上高比率30%以上を目標とします。また、グローバル市場で主力製品の成長を図るために適地適産を展開し、海外売上高比率を40%以上まで増加させます。

これらの施策により、新たな収益機会の創造を行い、連結売上高5,000億円を達成します。

3．変動の激しい事業環境への適応

連結経営の視点から生産性の効率向上を図り、固定費・変動費の削減を引き続き推進します。これにより、損益分岐点比率を10%引き下げ、事業環境の変化に影響されにくい収益体質づくりを進め、連結営業利益300億円を達成します。

4．成長へ向けた財務体質の強化

成長への投資が積極的にできる財務体質とするため、サプライチェーンマネジメントなどにより棚卸資産の30%削減を行い、キャッシュフローの改善を行います。

・ 当社のマネジメント体制と中期経営計画の実行

当社は、コアとなる製品の圧倒的な競争力の確保、エレクトロニクス関連を中心とした基盤事業の再構築、積極的なグローバル展開、成長を牽引する新製品・新事業の創出・育成という方針を通じて企業価値の極大化を図ることが経営にとって重要な課題であると考えております。

これを実現する経営の仕組みとして、2001年4月に執行役員制度および社内カンパニー制を導入し、2003年6月には、委員会等設置会社へ移行し、コーポレートガバナンスを強化することで、これらの基本方針を確実に実践できる俊敏な執行体制としております。

この経営体制のもと、2005年度中期経営計画につきましても、計画の妥当性のチェックとフォローを随時行いながら、アクションプランを確実に実行してまいります。

以 上